緑風舎
自由空間

第51回 緑風舎コンサート

TRIO ACCORD

トリオ・アコード♬ベートーヴェンを奏でる

PLAYS BEETHOVEN

3:00 PM
Sun. March 22, 2020

KEI SHIRAI
violin

YUYA TSUDA
piano

HIROKI KADOWAKI
cello

緑風舎音楽ホール

Today's Program

Beethoven

ピアノ三重奏曲 第５番 ニ長調 作品70-1「幽霊」

休　　憩

ピアノ三重奏曲 第６番 変ホ長調 作品70-2

作品70は２曲のピアノ三重奏曲からなり、1808年に作曲された。当初はルドルフ大公に献呈する予定であったが、エルデーディ伯爵夫人がピアノ三重奏曲の新作を熱心に依頼したために当初の計画を変更し、２曲のピアノ三重奏曲に変わったという。
現在比較的多く演奏されるのは第５番のほうである。この曲の特色は第２楽章のかもしだす情緒の沈鬱で神秘的な味わいにあり、幽霊が出てきそうな不気味な雰囲気から「幽霊」の別名を与えられているが、いつどのようについたのかは定かではない。また、前後の楽章はむしろ力強く明るい雰囲気があり、憂鬱な雰囲気の第２楽章を両面から支えているような趣がある。ベートーヴェンとしては軽い作品に属するが、前年には、「運命」「田園」などの交響曲、翌年にはピアノ協奏曲「皇帝」など、名作を次々と書き上げ、「傑作の森」と呼ばれる時期に入ろうとするベートーヴェンの創作意欲を十分に感じさせる作品である。
第６番は、前作と異なり４楽章からなっている。名作「幽霊」と「大公」に挟まれた比較的地味な曲だが、全体を流れる豊かな楽想と穏やかで陽気な旋律が魅力となっている。

Trio Accord（トリオ アコード）

2003年、東京藝術大学在学中に同級生である３人――白井圭（ヴァイオリン）、門脇大樹（チェロ）、津田裕也（ピアノ）――により結成されたピアノ・トリオ。東京藝大卒業後、それぞれがウィーン国立音楽大学、アムステルダム国立音楽院、ベルリン芸術大学へと留学したため一時活動を中断していたが、近年公演を再開、その演奏の密度の濃さに各地にて好評を博し、今後の活動に期待が高まっている。広範にわたるレパートリーを誇り、全国各地にて演奏活動を行う。

♬ピアノ ：STEINWAY HAMBURG製

白井　圭（*Kei Shirai/Violin*）

トリニダード・トバゴ共和国生まれ。東京藝術大学卒業。大谷康子、田中千香士、ゴールドベルク山根美代子の各氏に指事。ウィーン国立音楽演劇大学室内楽科にてヨハネス・マイスル氏に師事、その他ヴェスナ・スタンコービッチ氏の指導も受ける。日本音楽コンクール（第２位および増沢賞）、ARDミュンヘン国際コンクール（第２位および聴衆賞）、ハイドン国際室内楽コンクール（第１位および聴衆賞）を始めとしたコンクールで受賞歴をもち、ソリストとしてチェコ・フィル、ミュンヘン室内管、新日本フィル、東京フィルなどと共演。2018年まで約５年間、神戸市室内合奏団（旧称）のコンサートマスターを務めた。Trio Accord, Stefan Zweig Trio, Ludwig Chamber Playersのメンバー。

門脇大樹（*Hiroki Kadowaki/Cello*）

東京藝術大学卒業。第74回日本音楽コンクール第３位、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第１位など、受賞多数。イタリアへ留学。フィルハーモニカ・イタリアーナのオペラフェスティバルでは、首席を務める。チェロをフランチェスコ・フェラリーニに、室内楽をロレンツァ・ボッラーニに師事。その後オランダへ渡り、アムステルダム国立音楽院にて研鑽を積む。アンナー・ビルスマのマスタークラスを受講。これまでに柳田耕治、雨田一孝、河野文昭、山崎伸子の各氏に、室内楽をゴールドベルク山根美代子、岡山潔の各氏に師事。現在、東京音楽大学伴奏科助手。神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。

津田裕也（*Yuya Tsuda/Piano*）

東京藝術大学および同大学院修士課程で学び、安宅賞、クロイツァー賞などを受賞。並行して2007年よりベルリン芸術大学で学び、2011年同校を最優秀の成績で卒業。2007年第３回仙台国際音楽コンクールにて優勝、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。2011年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。ソリストとしてベルリン響や日本国内各オーケストラと共演。室内楽活動にも活発に取り組み、松山冴花(vn)とのデュオや、トリオ・アコードとしての活動のほか、様々な演奏者から厚い信頼を得ている。これまでにパスカル・ドヴァイヨン、ガブリエル・タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渋谷るり子の各氏に師事。現在、東京藝術大学准教授。